

Ver. 4 問題集

for the USCPA Exam

USCPA

Managerial Accounting(MA) & Financial Management (FIN)

FAR

Financial Accounting & Reporting

BEC

Business Environment & Concepts

REG

Regulation

AUD

Auditing & Attestation

問題文翻訳集



TAC

Ver.4 問題集

for the USCPA Exam

USCPA

Managerial Accounting (MA)&

Financial Management

(FIN)

問題文翻訳集

この問題文翻訳集は同タイトルの問題集に収録されている全文英文の問題文を日本語訳を交えて翻訳したものです。問題集を解き進める際、必要に応じてご利用ください。

USCPA 試験は英語で実施されますので、最終的には問題集本体に収録されている英文の問題を英語のまま理解できるまで習熟を図ってください。そのためこの翻訳集においても、英語でそのまま理解してほしい試験で頻出の専門用語や比較的短い語句等については、日本語に訳さず、原文の英語のまま掲載しています。

皆様が本教材を活用することによって合格を勝ち取られることを祈念しております。

TAC 米国公認会計士講座



U.S. CPA
Managerial Accounting & Financial Management
問題集 問題文翻訳集

Contents

Vol.1

1. Product Costing （製品原価計算）	1
2. Cost Allocation （原価配賦）	9
3. Standard Costing （標準原価計算）	17
4. Variable Costing （直接原価計算）	23
5. Measurement of Cost Behavior （コストビヘイビアの測定）	27
6. CVP Analysis （CVP 分析）	31
7. Budgeting System （予算管理システム）	37
8. Performance Measurement Systems （業績測定システム）	51
9. Process Management （プロセス・マネジメント）	61

Vol.2

10. Project Management （プロジェクト・マネジメント）	71
11. Operating Decision Making （業務意思決定）	73
12. Capital Budgeting （資本予算）	85
13. Long-term Finance and Capital Structure	103
14. Working Capital Management	119
MA&FIN AICPA Released MCQs	137

この問題文翻訳集は同タイトルの問題集に収録されている全文英文の問題文の日本語訳を収録したものです。問題集を解き進める際、必要に応じてご利用ください。

USCPA 試験は英語で実施されますので、最終的には問題集本体に収録されている英文の問題を英語のまま理解できるまで習熟を図ってください。そのためこの翻訳集においても、英語でそのまま理解してほしい試験で頻出の専門用語や比較的短い語句等については、日本語に訳さず、原文の英語のまま掲載しています。

皆様が本教材を活用することによって合格を勝ち取られることを祈念しております。

TAC 米国公認会計士講座

1. Product Costing (製品原価計算)

基本問題 1

- (1) Fab Co.は Textiles（織物）を製造している。Fab の Year 1の Manufacturing costs を占める Salaries and wages は以下の通りである。

Loom operators（織機操作者）	\$120,000
Factory foremen（工場監督）	45,000
Machine mechanics（機械整備士）	30,000

Fab の Year 1の Direct labor costs は以下のどれか。

- a. \$195,000 b. \$165,000 c. \$150,000 d. \$120,000
- (2) 製造に大量の電気を必要とする製品で、Crude oil prices（原油価格）が上昇した場合、増加する可能性が最も高いコストは以下のどれか。
- a. Direct materials.
b. Direct labor.
c. Prime costs.
d. Conversion costs.
- (3) Inventoriable costs について正しいのは以下のどれか。
- a. 製品製造の Prime costs のみが含まれる。
b. 製品製造の Conversion costs のみが含まれる。
c. 製品が販売されるまでは Assets とみなされる。
d. Fixed factory overhead は含まれない。
- (4) 従来の Job order cost system において、Indirect materials の製造部門への issue（流出）により増加するのは以下のどれか。
- a. Stores control.
b. Work in process control.
c. Factory overhead control.
d. Factory overhead applied.

基 本 問 題 2

(1) 以下は、Ray, Inc.の記録の抜粋である。:

Purchases of raw materials	\$ 6,000
Raw materials, beginning	500
Raw materials, ending	800
Work-in-process, beginning	0
Work-in-process, ending	0
Cost of goods sold	12,000
Finished goods, beginning	1,200
Finished goods, ending	1,400

Conversion costs の総額は以下のどれか。

- a. \$5,500
- b. \$5,900
- c. \$6,100
- d. \$6,500

(2) 以下の情報を踏まえると、Ending inventory は以下のどれか。

Beginning inventory	\$5,000
Total production costs	60,000
Cost of goods sold	55,000
Direct labor	40,000

- a. \$5,000
- b. \$10,000
- c. \$45,000
- d. \$50,000

基本問題 3

(1) **Costs** は、あらゆる方法と理由により **Cost objectives** に配賦される。**Cost allocation** の目的として正しいのは以下のどれか。

- a. **Revenue center** の業績を評価する
- b. 外部報告のために **Income** と **Assets** を測定する
- c. 内部報告のために **Variable costing** を支援する
- d. **Activity-based costing** を実施する

(2) 以下のうち、各業種を適切な **Costing system** に振り分けているのはどれか。

<i>Job</i> <u>Costing System</u>	<i>Process</i> <u>Costing System</u>
a. Wallpaper manufacturer (壁紙メーカー)	Oil refinery (石油精製所)
b. Aircraft assembly (航空機の組み立て)	Public accounting firm (会計事務所)
c. Paint manufacturer (塗料メーカー)	Retail banking (リテールバンキング)
d. Print shop manufacturer (印刷所)	Beverage drink (飲料)

(3) **Champion Brake Inc.**の会計士は、**Machine hours** を基に **Overhead** を配賦している。当期予算における **Overhead** と **Machine hours** はそれぞれ\$260,000と16,000である。実際に発生した **Overhead** と **Machine hours** は\$275,000と20,000であった。当期の **Cost of goods sold** と **Inventory** のデータは以下の通りである。

Direct Materials	\$ 50,000
COGS	450,000
WIP (units)	100,000
Finished Goods (units)	150,000

当期の **Over/Underapplied overhead** (製造間接費配賦差異) は以下のどれか。

- a. \$15,000
- b. \$50,000
- c. \$65,000
- d. \$67,000

基本問題 4

Madtask Company の1995年11月における Inventories の期首および期末残高は以下の通りである。

	<u>November 1</u>	<u>November 30</u>
Direct materials	\$ 67,000	\$ 62,000
Work-in-process	145,000	171,000
Finished goods	85,000	78,000

11月の生産データは以下の通りである。

Direct labor	\$200,000
Actual factory overhead	132,000
Direct materials purchased	163,000
Transportation in	4,000
Purchase returns and allowances	2,000

Madtask は1つの Factory overhead control account を使用し、Direct labor cost の70%を Factory overhead として Production に配賦している。当社は、年度末まで Over/Underapplied overhead（製造間接費配賦差異）を正式に認識しない。

- (1) Madtask Company の11月の Prime cost は以下のどれか。
 - a. \$370,000 b. \$363,000 c. \$170,000 d. \$368,000
- (2) Madtask Company の11月の Total manufacturing cost は以下のどれか。
 - a. \$502,000 b. \$503,000 c. \$495,000 d. \$510,000
- (3) Madtask Company の11月の Cost of goods transferred to finished goods inventory（完成品在庫に振り替えされた売上原価：COGM）は以下のどれか。
 - a. \$469,000 b. \$495,000 c. \$484,000 d. \$476,000
- (4) Madtask Company の11月の Cost of goods sold は以下のどれか。
 - a. \$484,000 b. \$491,000 c. \$502,000 d. \$476,000
- (5) Madtask Company の11月の Net charge to factory overhead control（製造間接費配賦差異）は以下のどれか。
 - a. \$8,000 debit, overapplied.
 - b. \$8,000 debit, underapplied.
 - c. \$8,000 credit, overapplied.
 - d. \$8,000 credit, underapplied.

基本問題 5

- (1) Pick Co.の Job order costing system では、事前に設定された Annual overhead rate を用いて Manufacturing overhead を Work in process (仕掛品) に配賦している。Year 1の1月に、Pick は以下の取引を実施した。

Direct materials issued to production	\$ 90,000
Indirect materials issued to production	8,000
Manufacturing overhead incurred	125,000
Manufacturing overhead applied	113,000
Direct labor costs	107,000

Work in process inventory の期首残高、期末残高は共にゼロであった。Year 1の1月に完成した Job の cost はいくらか。

- a. \$302,000 b. \$310,000 c. \$322,000 d. \$330,000
- (2) 1月1日、Maples は進行中の Job が2つあった。#506の Costs は\$10,500で、#507の Costs は\$14,250であった。1月には、#508から#510の3つの Job がスタートし、#506、#507と#508が完了した。1月に追加された Materials and labor costs は以下の通りである。

<u>Job number</u>	<u>Materials</u>	<u>Labor</u>
506	\$ 0	\$2,000
507	0	1,500
508	4,000	3,600
509	3,800	2,000
510	2,600	3,100

Manufacturing overhead は、Labor の200%で配賦される。1月の Cost of goods manufactured および Work in process (仕掛品) から移転された Cost はいくらか。

- a. \$25,300 b. \$35,850 c. \$42,950 d. \$50,050
- (3) 以下のうち、Overapplied overhead (配賦超過) を引き起こすのはどれか。
- Actual overhead is greater than overhead applied.
 - Actual overhead is less than overhead applied.
 - Actual overhead was equal to the budgeted amount but fewer items were manufactured.
 - The number of units produced was the budgeted amount but a larger amount of overhead was actually incurred.

基本問題 6

Kimbeth Manufacturing は、Process cost system を用い、鉱業向けにダスト濃度センサーを製造している。以下は、5月の生産活動に関する情報である。

	<u>Units</u>
Beginning work-in-process inventory, May 1	16,000
Started in production during May	100,000
Completed production during May	92,000
Ending work-in-process inventory, May 31	24,000

期首残高は Materials については60%完了で、Conversion costs については20%完了であった。期末残高は、Materials については90%完了で、Conversion costs については40%完了であった。

5月の Costs は以下の通りである。

- 期首残高 : Materials \$54,560、Direct labor \$20,320、Factory overhead \$15,240
- 5月に発生した Costs : Materials used \$468,000、Direct labor \$182,880、Factory overhead \$391,160

- (1) FIFO における5月の Equivalent unit cost of materials はいくらか。
 - a. \$4.50 b. \$4.60 c. \$4.80 d. \$5.46
- (2) FIFO における5月の Equivalent unit conversion cost はいくらか。
 - a. \$5.65 b. \$5.83 c. \$6.00 d. \$6.20
- (3) FIFO における5月31日時点の Work in process (仕掛品) 期末残高の Total cost of units はいくらか。
 - a. \$153,168 b. \$154,800 c. \$155,328 d. \$156,960
- (4) Weighted-average method における5月の Equivalent unit cost of materials はいくらか。
 - a. \$4.50 b. \$4.60 c. \$5.03 d. \$5.46
- (5) Weighted-average method における5月の Equivalent unit conversion cost はいくらか。
 - a. \$5.65 b. \$5.83 c. \$6.00 d. \$6.41
- (6) Weighted-average method における5月31日時点の Work in process 期末残高の Total cost of units はいくらか。
 - a. \$153,960 b. \$154,800 c. \$155,328 d. \$156,960

基本問題 7

- (1) Year 1の4月の生産において、Standard cost system を使用していない Hern Corp. では、\$900,000の Total production costs が発生し、そのうち\$60,000は Normal spoilage（正常仕損）に、\$30,000は Abnormal spoilage（異常仕損）に集計した。Hern はこの Spoilage をどのように処理する必要があるか。
- a. Period cost of \$90,000.
 - b. Inventoriable cost of \$90,000.
 - c. Period cost of \$60,000 and inventoriable cost of \$30,000.
 - d. Inventoriable cost of \$60,000 and period cost of \$30,000.
- (2) Mercer Company は5月に50,000個の製品を生産し、Spoilage（仕損）への配賦を除いた原価は\$600,000となった。これらの製品のうち、25,000個は5月中に販売した。追加の10,000個（原価\$80,000）は5月31日時点で50%が完成していた。全ての製品は、製造が完了して完成品倉庫に移される前に検査される。5月の Normal spoilage は\$20,000で、\$50,000の Abnormal spoilage も同月に発生した。5月の Income statement で Expense として計上する必要がある Total spoilage は以下のどれか。
- a. \$50,000
 - b. \$20,000
 - c. \$70,000
 - d. \$60,000

2. Cost Allocation (原価配賦)

基本問題 1

- (1) **Overhead** を配賦する際に **Plant-wide rate** ではなく **Individual departmental rates** が用いられるのは以下のどの状況か。
- a. 会社の製造作業の全てが高度に自動化されている。
 - b. 会社の製造作業は基本的に労働集約型である。
 - c. **Product cost** に占める **Manufacturing overhead** の構成比率が最大である。
 - d. 工場の各部門間で生産品の資源消費が異なる。
- (2) 1つまたは **Plant-wide rate** よりも、複数または **Departmental rates** を用いるのが望ましいのは以下のどの状況か。
- a. あらゆる製品が同じ部門を通過せずに生産される、または、同じ生産技術を使わずに生産される。
 - b. **Direct labor** といった **Cost driver** が全てのプロセスにおいて同じである。
 - c. 因果関係について、それぞれの **Cost driver** を正確に決めることができない。
 - d. 1つまたは **Plant-wide rate** が特定された複数の **Cost driver** に関連している。
- (3) **Factory service department costs** を製造部門に配賦する際に **Activity base** として使用されるのは以下のどれか。
- a. 販売製品数
 - b. 補助部門従業員の給与
 - c. 電力消費量
 - d. 直接材料使用量
- (4) **Smile Labs** は、4つの部門を進んでいく4つのステップからなるプロセスで、35ミリフィルムを現像している。当社は翌日サービスに特化しており、ドラッグストアチェーンの最大手が主要顧客である。現在、**Direct labor**、**Direct materials** と **Overhead** は部門ごとに収集している。当社が使用している **Cost accumulation system** は以下のどれか。
- a. **Operation costing.**
 - b. **Activity-based costing.**
 - c. **Job order costing.**
 - d. **Process costing.**

基本問題 2

- (1) New Wave Co.は、レギュラーとプレミアムの2種類のコーヒー豆に対する Overhead の配賦方法を新しくすることを検討している。New Wave は現在、Direct labor costs が Cost driver (原価作用因) である従来の配賦方法を用いている。しかし、豆の選別と焙煎にかかる Machine hours (MH) と梱包・出荷のポンド数という2つの異なる Driver を使うことを考えている。当月の Machine hours は700時間で、コーヒー1ポンド当たりの Direct labor cost は\$1.25、Direct materials cost は\$1.50 である。当月に梱包、出荷されたコーヒーは1,000ポンドである。以下のデータも参考にする。

		<u>Regular</u>	<u>Premium</u>
Overhead for			
the current month	\$5,000.00		
Cost pool for separating			
and roasting beans	3,500.00	150 MH	550 MH
Cost pool for packing			
and shipping	1,500.00	500 pounds	500 pounds

Activity-based costing におけるプレミアムコーヒー1ポンド当たりの Total cost はいくらか。

- a. \$5.00
 - b. \$5.75
 - c. \$7.75
 - d. \$9.75
- (2) Activity-based cost (ABC) が従来の Cost system に取って代わった場合の Cost pools と Allocation bases の数に及ぼす影響は以下のどれか。

	<u>Cost pools</u>	<u>Allocation bases</u>
a.	No effect	No effect
b.	Increase	No effect
c.	No effect	Increase
d.	Increase	Increase

基本問題 3

(1) 社内外の報告について適切に分類されている Costing method は以下のどれか。

	<u>External Reporting</u>	<u>Internal Reporting</u>
a. Activity-based costing.	No	Yes
b. Job costing.	No	Yes
c. Variable costing.	Yes	No
d. Process costing.	No	Yes

(2) Activity based costing は製品の原価情報をより精度の高いものにするが、その理由は、Cost system にどのような特徴があるからか。

- a. 総計で在庫を評価するよう設計されており、製品原価情報とは関連がない。
- b. Direct labor hours/dollars といった共通の部門または工場全体の活動指標を用い、製品に Manufacturing overhead を配賦する。
- c. 長期製品分析を重視する (Fixed costs が Variable costs になる際)。
- d. 従来の Cost system の歪みを理解しているマネージャーに、完全な影響を理解することなく Traditional cost information に直感的で不正確な調整をさせる。

(3) Activity-based costing system において、Department の Manufacturing overhead costs を、あらゆる Lot sizes で製造される製品に配賦する際に活用する必要があるのは以下のどれか。

- a. A single cause and effect relationship.
- b. Multiple cause and effect relationships.
- c. Relative net sales values of the products.
- d. A product's ability to bear cost allocations.

基本問題 4

- (1) 多くの企業において基本的な生産形態が変化しつつあることにより、**Indirect costs** の配賦方法も近年、変化しつつある。その変化に当てはまらないのはどれか。
- a. スループットタイムの長期化に伴うコストへの意識を高めるため、スループットタイムを配賦ベースとして用いる。
 - b. 細かな配賦によるコスト発生よりも、**Machine hours** に配賦される **Plant-wide application rate** を好む。
 - c. 複数の **Machine cost pool** を使い、**Machine center** での時間に基づいて製品原価を測定する。
 - d. 報告される製品原価の精度を上げるため、**Cost driver** を配賦ベースとして用いる。
- (2) **Cost drivers**（原価作用因）の基本的な性質や範囲に基づいて財務・業務データを収集する会計システムを何と呼ぶか。
- a. **Direct costing.**
 - b. **Activity-based costing.**
 - c. **Target costing.**
 - d. **Variable costing.**
- (3) **Activity-based costing system** の限界は以下のどれか。
- a. **Overhead costs** の管理が強化される。
 - b. **Activity-based costing systems** は信頼性が低い。
 - c. 原価データを入手する費用が相対的に高い。
 - d. **Overhead costs** の恣意的な配賦が排除される。
- (4) 製造された **Work in process inventory** に関連する **Nonvalue-added costs** の中で最も重要なのは以下のどれか。
- a. 個別の製品に紐づけできない **Material cost**
 - b. 個別の製品に紐づけできない **Labor cost**
 - c. 個別の製品の移動、取扱いおよび保管費用
 - d. 個別の製品を生産する際に追加で消費される資源の費用

基本問題 5

Sonimad Sawmill は、Joint milling process（連結木材加工工程）により2つの材木製品を製造している。これらの製品は、MSB（鉱山支持支柱）と生木の CBL（商業用建築用材）である。1回の標準的な生産では\$300,000の Joint costs が発生し、60,000本の MSB と90,000本の CBL が製造される。販売単価は MSB が\$2、CBL が\$4である。

- (1) Split-off point 以降に加工が行われないと仮定すると、Physical quantity ベースで CBL に配賦される Joint cost はいくらか。
- a. \$75,000
 - b. \$180,000
 - c. \$225,000
 - d. \$120,000
- (2) Split-off point 以降に加工費が追加で発生しないと仮定すると、Relative sales value ベースで MSB に配賦される Joint cost はいくらか。
- a. \$75,000
 - b. \$180,000
 - c. \$225,000
 - d. \$120,000
- (3) 前のデータを使用し、CBL が Split-off point で販売可能な状態ではなく、1回の生産で\$200,000の Cost をかけてさらにかんなで削り切断する必要があると仮定する。この工程においては10,000本の仕損品が発生してしまい、それらの価値はゼロである。残りの CBL は1本\$10で販売できる。MSB は Split-off point で即時販売可能であるが、1回の生産で\$100,000の Cost がかかるタール状の防腐剤を塗布する。その後、MSB は1本\$5で販売される。
- Net realizable value (NRV)を用いた場合の CBL に配賦される1本当たりの Completed cost はいくらか。
- a. \$2.92
 - b. \$5.625
 - c. \$5.3125
 - d. Some amount other than those given above.

基 本 問 題 6

- (1) 以下のうち、Joint cost の状況における Cost allocation の基礎とならないのはどれか。
- a. Sales value at split-off.
 - b. Flexible budget amounts.
 - c. Physical measures such as weights or volume.
 - d. Constant gross margin percentage net realizable value method.
- (2) Kode Co.は、May と呼ばれる By-product（副産物）が発生する Major product（主産物）を製造している。May の唯一の Separable cost は、1個\$4で販売したときの\$1の販売コストである。Kode は、Major product の Cost of goods sold から\$3の純額を控除し、May の販売を処理している。Inventories は存在しない。Kode が May の会計処理方法を By-product から Joint product（連産品）に変更したとすると、Kode の Overall gross margin に及ぼす影響は以下のどれか。
- a. No effect.
 - b. Gross margin increases by \$1 for each unit of May sold.
 - c. Gross margin increases by \$3 for each unit of May sold.
 - d. Gross margin increases by \$4 for each unit of May sold.

【MEMO】

Managerial Accounting & Financial Management—問題集 問題文翻訳集

2021 年 5 月 13 日 初版初刷発行

編 者 TAC 米国公認会計士講座

発 行 者 多 田 敏 男

発 行 所 TAC 株式会社

〒101-8383

東京都千代田区神田三崎町3-2-18

印刷・製本 株式会社 日興印刷

落丁・乱丁本はお取り替えいたします。

本書は、「著作権法」によって、著作権等の権利が保護されている著作物です。本書の全部または一部につき、無断で転載、複写されると、著作権等の権利侵害となります。上記のような使い方をされる場合には、あらかじめ小社宛許諾を求めてください。

Printed in Japan

Ver. 4 問題集

for the USCPA Exam

USCPA

Managerial Accounting(MA) &
Financial Management
(FIN)



TAC

BRADLEY
UNIVERSITY



091-2200-1005-13